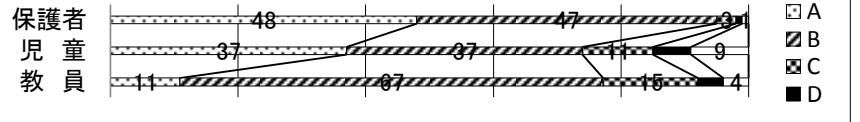


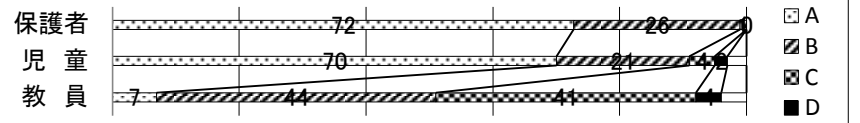
設問18

家庭は、
学校や担任(専科)の教育方針を理解しようと努



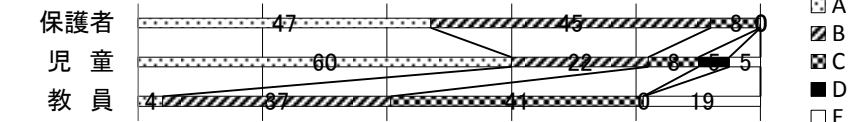
設問19

家庭は、
子供の間違っただ行動に対して厳しく指導してい



設問20

家庭は、
学校の学習や生活の様子について、お子さん



◇共通してABが高い項目

①設問1「児童は、楽しく学校生活を過ごしている」は保護者、児童、教員ともに高い割合です。多くの児童が楽しく学校に通っていることは嬉しいことです。しかし、教員の100%、保護者の96%に対し、児童は82%で、逆に16%の児童が「楽しくない」と答えています。人数で見ると学年が上がるほど増えています。児童一人一人に目を向けながら解決できるよう働きかけていきます。

②設問12「先生は、子供の間違っただ行動に対して厳しく指導している」も保護者、児童、教員ともに90%以上です。教員は、児童に規範意識を持たせるために毎日、生活指導を行っています。分かってはいるけれど、守ることのできない児童へは、今後も粘り強く指導を続けます。

③設問13「先生は、保護者の思いや願いを受け止め、相談に応じてくれる」は児童の回答はありませんが、保護者、教員ともに高い割合でした。今後も教員は保護者からの相談に応じ、問題の解決へ向けて共に歩んでいきます。

④設問16「学校は、安全で安心な学校づくりに努めている」も共通して高い割合でした。児童の安全な廊下の歩行への指導は年間を通して日常的に行ってきました。「転び方安全教室」も実施して、怪我をしない生活ができるよう働きかけました。また、今年度は特に「安全安心ボランティア」を地域や保護者の皆さんの協力を得て強化できたことは、防犯の面でも有り難いことでした。

◆共通してCDが高い項目

②設問6「児童は、考える力や判断する力がついてきている」は教員の評価はかなり低く、児童も30%、保護者も低いと答える方が見られます。小学校では、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける学習指導を重視しています。また、その身に付けた学力を活用して思考力、判断力、表現力を向上させていくことも大切です。児童の考える力や判断する力を向上させる指導の工夫や改善を今後一層進めていきます。

③設問8「児童は、進んで運動し、体力がついてきている」は教員の半数近くが低い評価になっています。児童、保護者も低いと答えている方が少なくはありません。学校の教育目標は、「知・徳・体」となっており、本校でも「体」に当たる目標として「たくましい子」を掲げ、日々教育活動を行っています。最近、小学生の体力低下が言われています。学校では、今まで以上に体育的活動の日常化に向けて取り組んでいきます。家庭でも家に籠もってゲームをする子供たちに外遊びを呼びかけ、体力づくりに取り組ませてください。

☆気になる項目

①設問3「児童は、授業中、先生の話をよく聞き、しっかりと学習している」は教員の評価はかなり低く、児童、保護者も比較的低い評価となっています。授業中に先生の話の聞けなく、授業にも身が入らない児童は本人自身にも今後の努力が必要です。また教員の指導の仕方や工夫、学習ルールの確立等の見直しも考え、より良い方向へ改善していきます。

②設問5「児童は、あいさつをする習慣が身につけてきている」は教員の74%が良くないと評価しています。逆に、児童は80%、保護者は85%が身につけてきていると答えています。教員は、児童の現状のあいさつに対して厳しい評価をしています。学校では、先生方の指導や全校朝会での話などで、児童にあいさつすることの大切さが分かるように話しています。教員は児童に、元気に気持ちよく自分から進んでできる「あいさつ」を望んでいます。「あいさつ」はただ言えばよいというのでは、気持ちが伝わりません。学校では指導を更に続けます。ご家庭でもしっかりとあいさつができるようご指導ください。

③設問7「児童は、友達を思いやり協力する心が育ってきている」は教員の41%が低い評価になっていますが、児童と保護者は約90%が良いと言う評価です。確かに日々の指導で、思いやりの心や協力する態度は育ってきています。しかし現状をみると、毎日のように起こるトラブルや喧嘩、怪我等、まだまだ十分とは言えません。一人一人の児童に道徳心が育つよう今後も更に指導を続けます。